

横浜南西地域  
普通科  
（瀬谷高校・瀬谷西高校）  
設置計画

令和4年3月

神奈川県教育委員会

## 1 対象校・位置・実施年度

- (1) 対象校 瀬谷高等学校 瀬谷西高等学校
- (2) 位置 瀬谷高等学校敷地（横浜市瀬谷区東野台29-1）
- (3) 実施年度 令和5年度

## 2 設置の目的

- これまでの両校の教育活動を踏まえた地域における新たな高校として、地域資源を活用したさまざまな連携事業を実施し、地域に根ざした教育に取り組む。
- 瀬谷高校における確かな学力と探究心を身に付けるための教育活動の成果と、瀬谷西高校における社会に積極的に参画する態度を育成するシチズンシップ教育の成果を踏まえ、生徒の「探究する力」を育み、生徒が社会での自己の役割を認識し、社会に貢献する態度を養うための教育活動を展開する。
- 両校での学習支援の取組みを充実させ、個々の学習ニーズに応じた学力の伸長を図り、学校全体の教育力の向上をめざす。

## 3 基本的コンセプト

- 学年制による全日制普通科の県立高校としての教育の展開
- これからの時代に求められる資質・能力の育成に向けた教育の展開  
共通教科・科目を中心とした教育課程を編成し、基本的な知識・技能の習得と、主体的に学び、自ら課題を発見し解決するための思考力・判断力・表現力等の育成を図る。また、知・徳・体のバランスの取れた教育を展開し、自ら設定したより高い目標の実現に向かって積極的に行動する自立した人材の育成を図る。
- 「探究する力」の育成をとおしたキャリア教育の推進  
ICTを積極的に活用し、自ら課題を見出し他者と協働して解決する力「探究する力」を育成する。さらに、キャリア教育を進める中で、生徒一人ひとりが、培った「探究する力」を生かしながら、目的意識を持ったキャリア選択を行い、自己実現を図ることができるよう、教育課程や支援体制を構築する。
- 地域と連携・協働した教育活動の推進  
これまで両校が取り組んできた地域との連携・協働を継承・発展させ、生徒の地域社会へ参画する態度を育むとともに、地域の教育力を活用した教育活動の推進を図り、学ぶことと社会のつながりを実感できる、地域とともに歩む学

校づくりを推進する。

#### 4 設置形態

- (1) 課程 全日制の課程
- (2) 学科 普通科
- (3) 学校規模 960名程度（各学年320名程度 8学級規模程度）  
※学級規模は予定であり、入学定員の発表時に確定
- (4) 修業年限 3年
- (5) 学期 3学期制
- (6) 履修形態 共通教科の科目を中心とした必履修科目及び選択科目による履修
- (7) 授業展開 50分7限1日、6限4日を基本とし、必要に応じて弾力的な授業時間を設定

<日課表> (予定)

	7校時時程 (週1日)	6校時時程 (週4日)
ショートホームルーム	8:40 ~ 8:45	8:40 ~ 8:45
1校時	8:50 ~ 9:40	8:50 ~ 9:40
2校時	9:50 ~ 10:40	9:50 ~ 10:40
3校時	10:50 ~ 11:40	10:50 ~ 11:40
4校時	11:50 ~ 12:40	11:50 ~ 12:40
昼休み	12:40 ~ 13:25	12:40 ~ 13:25
5校時	13:25 ~ 14:15	13:25 ~ 14:15
6校時	14:25 ~ 15:15	14:25 ~ 15:15
7校時	15:25 ~ 16:15	
ショートホームルーム	16:15 ~ 16:20	15:15 ~ 15:20

#### 5 入学者選抜

- (1) 募集の区分 一般募集（中学校卒業見込み者及び中学校既卒業者）
- (2) 選抜の区分 共通選抜
- (3) 選考の方法 事前に公表した「公立高等学校入学者選抜選考基準」に基づいて、選考する。

## 6 教育課程

### (1) 基本の方針

- 在籍3年以上で、必履修科目を履修し、高等学校学習指導要領に基づいて学校において定めた卒業までに修得させる単位数を修得することで卒業とする。
- 生徒に高度な普通教育を施し、一般的な教養を高めるとともに、上級学校への進学をはじめとした進路希望の実現と探究学習の充実に向け、共通教科・科目を中心とした系統的な科目構成とする。

### (2) 教育展開の方針

- 入学後の学力把握を行うとともに、観点別学習状況の評価などを充実させ、学習活動を多面的に評価し、確かな学力の着実な育成と発展的な学習の充実を図る授業を活用し展開する。
- 変化が激しく予測が困難な社会に対応する幅広い知識と判断力を身に付け、自己の考えを適切に表現し発信できるコミュニケーション能力を養い、自己理解及び他者理解を踏まえた協働的な学びの機会を充実させる。
- 地域資源を活用し、地域の機関等と連携した体験的な学びを展開することにより、地域に根ざし、地域社会に積極的に貢献する態度を育てる教育を展開する。
- 習得した知識・技能と自己の思いや考えなどを融合してアウトプットすることができるよう言語活動を充実させ、学びの深化を図る。
- 教科指導を中心に、学校行事や生徒会活動・部活動を通じて「知・徳・体」にわたる「生きる力」を育むバランスの取れた教育活動を展開する。
- 未来の社会を創造する主体としての自覚を持ち、これからの社会のリーダーとなって活躍できる人材を育成するため、カリキュラム・マネジメントに基づき「探究する力」の深化をめざした教育活動を展開する。

### (3) 編成の方針

- 生徒一人ひとりの個性や能力の伸長に向け、個々の学習ニーズ等に応じた教科・科目を設定し、キャリア教育の充実を図る教育課程を編成する。
- 「探究する力」の深化と充実に向け、「総合的な探究の時間」及び基盤となる教科・科目を、年次進行にあわせて段階的に展開する。

(4) 教育課程表 (予定)

○ 普通科

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
1 学 年	現代の 国語 ②	言語 文化 ②	地理 総合 ②	歴史 総合 ②	数学 I ③	数学A ②	化学 基礎 ②	生物 基礎 ②	体育 ③	保健 ①	英語 コミュニケーション I ④	論理・ 表現 I ②	情報 I ②	※探究 I ①	L H R ①																
2 学 年	言語 文化 ②	論理国語 ③	公共 ②	数学 II ④	数学B ②	物理 基礎 ②	体育 ②	保健 ①	音楽 I / 美術 I ②	英語 コミュニケーション II ④	論理・ 表現 II ②	家庭 基礎 ②	※探究 II ②	L H R ①																	
3 学 年	論理 国語 ②	体育 ③	英語 コミュニケーション III ④	論理・ 表現 III ②	古典探究 ④	地理探究 / 日本史探究 / 世界史探究 ④	数学 III / 数学探究 ④	物理 / 化学 / 生物 ④	選択科目 ④～⑩	※探究 III ①	L H R ①																				

教育課程表は予定であり、変更することがある。(○囲いの数字は単位数)  
アンダーラインは学校設定科目を示す。

◇選択科目 (4～10単位)

- 文学国語④、国語表現②、古典探究 (充実) \*②
- 地理探究④、地理探究 (充実) ②、日本史探究④、日本史探究 (充実) ②
- 世界史探究④、世界史探究 (充実) ②、倫理②、政治・経済②
- 数学C②、数学研究 I ② (数)、数学研究 II ② (数)、
- 物理基礎 (充実) ②、物理④、物理 (充実) ②、化学基礎 (充実) ②、化学④
- 化学 (充実) ②、生物基礎 (充実) ②、生物④、生物 (充実) ②
- 音楽 II ②、美術 II ②、工芸 I ②、英語コミュニケーション II (充実) ②
- [家]保育基礎②、[家]ファッションデザイン②、[家]フードデザイン②
- [音]声楽②、[音]器楽②、[美]絵画②、[美]クラフトデザイン②

\*「(充実)」が付記された科目は、同じ名称の科目とあわせて選択することができる。

※ 探究 I ①、探究 II ②、探究 III ①について

探究 I～IIIは「総合的な探究の時間」の校内における名称であり、その学習をとおして「探究する力」の深化を図る。新校で学んだ生徒が、変化が激しく予測が困難な社会を生き抜いていくために、「探究する力」を身に付けることができるよう、学びの質や深まりを重視し、主体的・協働的な学習を充実させることで課題を発見し解決する力を習得することを目標とした「総合的な探究の時間」を展開する。

## <主な展開>

- 探究Ⅰ** … 生徒一人ひとりが有するキャリア形成に係る課題発見のための手法や、課題解決の方策の基礎知識の習得を目的とする。「情報Ⅰ」と関連させて学習を進めることで、発信力を高めるとともに、探究する力を育成する。
- 探究Ⅱ** … 生徒一人ひとりがキャリア形成に係る課題を発見し、生徒自身が「探究Ⅰ」で習得した力を用いて解決するために、探究的に学習し、ICTを活用しながらレポートやポスターにまとめることを目的とする。発信力を身に付けさせるとともに探究する力の深化を図る。
- 探究Ⅲ** … 「探究Ⅱ」でまとめた個々の成果を踏まえ、自ら高校卒業後のキャリアにつなげることができるよう探究の在り方を調整できる力を育成することを目的とする。探究力、コミュニケーション能力、発信力をあわせた「総合的な探究力」を養う。

### (5) 学習指導の工夫

- 知識の質や量の改善とともに、学びの質や深まりを重視し、課題の発見と解決に向けてICTを活用した主体的・協働的な学習や教科等横断的な学習、そのための指導の方法等を充実させる取組みを図る。
- 自らの進路希望や学習の目的に基づいて、主体的に学習を進めることができるよう、また、基本的な内容から発展的な内容を含め、生徒一人ひとりの個性と能力の伸長を図ることができるよう指導する。

### (6) 生徒指導等の工夫

- 特別活動（ホームルーム活動、生徒会活動、学校行事等）や部活動等の集団活動により、さまざまな個性を相互に尊重し、より良い人間関係の構築と自立をめざすための指導及び支援を行う。
- 生徒の状況を的確に把握し、多様な教育的ニーズに対して、一人ひとりに応じた適切な配慮や支援を、学校全体で行う体制を整える。
- 生徒と教師との信頼関係及び生徒相互の好ましい人間関係を育てるとともに生徒理解を深める。

### (7) 進路指導の工夫

- 生徒が自己の在り方、生き方を考え、主体的に進路を選択することができるよう、探究活動をはじめとする学校の教育活動全体を通じてキャリア教育を推進するとともに、生徒一人ひとりの進路目標の実現を図るため、計画的、組織的な進路指導を行う。

- 教育課程や学習指導と一体化したきめ細かい指導や、進路希望に対応した体験活動及びガイダンスの機能の充実を図るなど支援体制を確立する。

#### (8) 学校経営

- 学校教育計画に基づき、学校評価や第三者評価を生かすなどして、自律的・組織的な学校経営の一層の充実に取り組む。
- 学校運営協議会制度（コミュニティ・スクール）を活用した地域の参画・協働による学校運営を推進する。

### 7 施設・設備の整備

- 両校の統合による普通教育の展開に必要な施設・設備の整備を行う。
- 生徒一人ひとりの個別最適化した学びの実現に向けた指導・支援の展開に必要な施設・設備の整備を推進する。

### 8 その他

- 「探究する力」を身に付けさせるための教育の展開に必要な職員の配置を行う。



神奈川県

教育委員会教育局指導部高校教育課  
高校教育企画室高校教育企画グループ 電話(045)210-8254(直通)  
横浜市中区日本大通1 丁目231-8588 FAX(045)210-8922  
電話(045)210-1111(代表) 内線 8255・8256